

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共  
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（ 詳述公共（実教出版） ）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をなす公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたらすることに向け粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1編公共の扉 第1章社会を作る私たち 【知識及び技能】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	ガイダンス 公共の科目特性 中学校公民的分野の復習 1 生涯における青年期の意義 2 青年期と自己形成の課題 3 職業生活と社会参加 4 現代社会と青年の生き方	【知識・技能】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解している。 【思考・判断・表現】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。				6
第1編公共の扉 第2章人間としてよく生きる 【知識及び技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。	1 ギリシアの思想 2 宗教の教え 3 人間の尊重 4 人間の自由と尊厳 5 個人と社会 6 主体性の確立 7 他者の尊重 8 公正な社会	【知識・技能】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 現代の諸課題について判断し選択する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 功利主義や義務論などの考え方を活用して、現代の諸課題について主体的に追究している。				6
定期考査			○	○	○	1
第1編公共の扉 第3章民主社会の倫理 【知識及び技能】 生命にかかわる科学技術の進歩がもたらしたエンハンスメント技術の進展と普及、その倫理的課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エンハンスメント技術は倫理的にどこまで認められるのか、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 エンハンスメントを例に、生命科学の進歩にかかわる倫理的課題を、功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。	1 人間の尊厳と平等 2 自由・権利と責任・義務	【知識及び技能】 生命にかかわる科学技術の進歩がもたらしたエンハンスメント技術の進展と普及、その倫理的課題を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 エンハンスメント技術は倫理的にどこまで認められるのか、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 エンハンスメントを例に、生命科学の進歩にかかわる倫理的課題を、功利主義や義務論の考え方を活用しながら主体的に追究している。				2
第1編公共の扉 第4章民主国における基本原理 【知識及び技能】 政治における意思決定の方法としての民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民や市民の意思を政治に反映させる民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会構成員の間の対立を調整し、意思を集約・決定するしくみとしての民主主義の意義と課題について、主体的に追究している。	1 人権保障の発展と民主政治の成立 2 国民主権と民主政治の発展	【知識・技能】 政治における意思決定の方法としての民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制について理解している。 【思考・判断・表現】 国民や市民の意思を政治に反映させる民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会構成員の間の対立を調整し、意思を集約・決定するしくみとしての民主主義の意義と課題について、主体的に追究している。				2
第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 近代以降の社会構成の原理である基本的人権の尊重、人間の尊厳と平等の意義、人権の歴史的發展と人権保障の広がりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活において人権保障が実際に確保されるためには、何が必要か、多面的・多角的に考察し、表現する。	1 日本国憲法の成立 2 平和主義とわが国の安全 3 基本的人権の保障 4 人権の広がり	【知識及び技能】 近代以降の社会構成の原理である基本的人権の尊重、人間の尊厳と平等の意義、人権の歴史的發展と人権保障の広がりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活において人権保障が実際に確保されるためには、何が必要か、多面的・多角的に考察し、表現する。				4
定期考査			○	○		1
第2編よりよい社会の形成に参加する私たち 第2章日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、制度の基本理念と実際の政治運営の観点から、主体的に追究している。	1 政治機構と国民生活 2 人権保障と裁判所 3 地方自治 4 選挙と政党 5 政治参加と世論	【知識・技能】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について理解している。 【思考・判断・表現】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営について、制度の基本理念と実際の政治運営の観点から、主体的に追究している。				12

1・2・3学期

自らの関心に基づき、主体的に 追究している。							
定期考査			○	○	○		1
第2編よりよい社会の形成に参加する 私たち 第3章現代の経済社会 【知識及び技能】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	1 経済社会の形成と変容 2 市場の仕組み 3 現代の企業 4 経済成長と景気変動 5 金融機関の働き 6 政府の役割と財政・租税	【知識及び技能】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○	○	○		12
第2編よりよい社会の形成に参加する 私たち 第4章経済活動のあり方と国民福祉 【知識及び技能】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、主体的に追究している。	1 日本経済の歩みと近年の課題 2 中小企業と農業 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題 5 労働問題と雇用 6 社会保障	【知識及び技能】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について、主体的に追究している。	○	○	○		6
定期考査			○	○	○		1
第2編よりよい社会の形成に参加する 私たち 第5章国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。	1 国際社会における政治と法 2 国家安全保障と国際連合 3 冷戦終結後の国際政治 4 軍備競争と軍備縮小 5 異なる人種・民族との共存 6 国際平和と日本	【知識及び技能】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。	○	○	○		9
定期考査			○	○	○		1
第2編よりよい社会の形成に参加する 私たち 第6章国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて、主体的に追究している。	1 国際経済のしくみ 2 国際経済体制の変化 3 経済のグローバル化と金融危機 4 地域経済統合と新興国 5 ODAと経済協力	【知識・技能】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南北問題の背景と推移、人口・食料問題、格差の是正に向けた取り組みについて、主体的に追究している。	○	○	○		6
						合計	
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

理科 科目 化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 化基704 化学基礎 [実教出版] ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な事物現象に対して興味を持ち、化学的な視点で探究する。化学の基本的な内容、法則等を学び、観察や実験によりこれらの技能を身に付ける。	身のまわりの事物現象の観察、基本的な化学実験などにより、化学的な力を養成する。	少人数の選択授業であるので、教材を工夫し生徒自身が主体的に取り組むような指導をおこなう。適宜実験をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 ・ 2 ・ 3 学期	A 単元 【知識及び技能】 ・純物質と混合物の性質の違いを利用して、純物質を取り出す方法の原理を理解する。 ・元素について学び、単体、化合物、同素体について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の分離、精製法がそれぞれどのような性質を利用しているかについて考える。 ・物質の状態を構成粒子の熱運動を相互作用によって考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身のまわりの物質について、その構成粒子から判断できる。	・物質の分類 ・純物質を取り出す方法 ・元素 ・単体と化合物 ・同素体 ・成分元素の検出 ・物質の三態と熱運動 ・状態変化	【知識・技能】 ・純物質の性質および混合物の性質を確認し、性質の違いを利用して純物質を取り出す方法を理解する。 ・物質を構成する基本的な成分が元素であり、元素の構成から単体と化合物に分類できる。さらに、同素体について理解するとともに、成分元素の確認法を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 【知識及び技能】 ・原子の構造を学び、構成粒子の性質や相互の関係から原子について理解する。 ・電子配置からイオンの生成について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 質量数と同位体、放射性同位体と年代測定などを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「3.11」や「自然災害への備え」などについて、考える。	・原子とその構造 ・原子の構成粒子 ・質量数 ・同位体 ・放射性同位体と半減期 ・電子配置 ・イオンの生成 ・多原子イオン ・イオン化エネルギー ・電子親和力 ・元素の周期表 ・イオン結合 ・イオン結晶	【知識・技能】 ・原子の構成粒子の性質や特徴、数の関係を学び、質量数や同位体を理解する。 ・電子配置をもとにイオンの生成について考え、さらにイオン結合へとつなげる。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
C 単元 【知識及び技能】 ・共有結合の仕組みについて理解し、配位結合や電気陰性度と極性等について学ぶ。 ・金属結晶の構造や共有結合の結晶の性質など、化学結合について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・共有結合の結合様式から、分子の電子式や構造式を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原子価を利用して分子式から構造式や電子式を書き示すことができる。	・共有結合 ・分子の形成 ・電子式 ・共有電子対と非共有電子対 ・構造式 ・分子の形 ・配位結合 ・錯イオン ・分子間力と分子結晶 ・極性 ・水素結合 ・金属結合 ・金属結晶の構造	【知識・技能】 ・化学結合について学び、身のまわりの物質の構造を構造式や電子式であらわす。 ・金属の結晶格子について学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	12	
定期考査			○	○	○	1	
D 単元 【知識及び技能】 ・相対質量の概念から原子量を求め、分子量、式量と展開する。 ・物質質量について学び、モル質量やモル体積から量的関係を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・分子量、式量、物質質量の計算の仕方を確認し問題演習を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質質量の計算練習を行う。 ・酸と塩基について学ぶ。	・原子量、分子量、式量 ・物質質量 ・モル質量 ・モル体積 ・物質質量と粒子の数、質量 ・物質質量と気体の体積 ・溶液の濃度 ・溶解度 ・化学反応式 ・化学反応の量的関係 ・酸と塩基 ・酸と塩基の分類	【知識・技能】 ・原子量、分子量、式量、モル質量、モル体積、濃度、溶解度について学ぶ。 ・化学反応式が示す関係を理解する。 ・酸と塩基の性質や特徴を学ぶ。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用して、学習内容を確認する。記載内容を発問形式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を求め、その記載内容を評価する。 ・適宜チェックテストを実施する。	○	○	○	15	

定期考査			○	○	○	1
E 単元 【知識及び技能】 ・中和反応がH <sup>+</sup> とOH <sup>-</sup> から水を 生じる反応であることを理解すると ともに、同時に生じる塩についても 考察する。 ・酸化剤 と還元剤の反応を中心に酸化還元反 応を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中和の化学反応式を考える。 酸化剤と還元剤の反応を化学反応式 であらわす。 【学びに向かう力、人間性等】 ・中和滴定および酸化剤と還元剤の 実験を行い、それぞれ化学反応式を 基に考察する。	・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩 ・中和反応の量的関係 ・中和滴定 ・酸化と還元 ・酸化数 ・酸化剤と還元剤 ・酸化剤、還元剤の量的関係 ・金属の酸化還元 ・酸化還元反応の応用	【知識・技能】 ・中和反応について学び、中和の量的関係か ら中和滴定について理解する。 ・酸化還元反応について学び、酸化剤と還元剤の 反応について探究する。 ・金属の 反応についてイオン化傾向から判断して理解 する。 【思考・判断・表現】 ・授業プリントやエブリィノートを活用し て、学習内容を確認する。記載内容を発問形 式で確認し、ポイントを指摘する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業プリント、化学基礎ノート等の提出を 求め、その記載内容を評価する。 ・適 宜チェックテストを実施する。	○	○	○	14
定期考査			○	○	○	1
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

理科

科目 生物基礎

教科：理科

科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ i版 生物基礎 啓林館 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解すること。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。 ・生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物の多様性</li> <li>2 生物の共通性</li> <li>3 生物の進化と系統</li> <li>4 細胞と個体の成り立ち</li> <li>5 真核細胞の構造</li> <li>6 原核細胞の構造</li> <li>7 生命活動とエネルギー</li> <li>8 ATP の構造</li> <li>9 生体内の化学反応と酵素</li> <li>10 光合成と呼吸</li> </ol> <p>・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。</li> <li>・単細胞生物の構造とその働き、多細胞生物の器官の働き、細胞と組織の多様性がわかる。</li> <li>・細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。</li> <li>・ATPが果たす役割について理解する。</li> <li>・酵素反応の特徴を理解できる。</li> <li>・光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。</li> <li>・単細胞生物の構造と働き、多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。</li> <li>・細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。</li> <li>・代謝におけるエネルギーについて考えることができる。</li> <li>・酵素の働きについて考えることができる。</li> <li>・細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生物に関心を持ち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。</li> <li>・単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。</li> <li>・細胞小器官の特徴と働きに注目する。</li> <li>・生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。</li> <li>・ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。</li> <li>・光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。</li> </ul>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>B 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性とDNAの複製</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>11 生物と遺伝情報</li> <li>12 DNAの構造と遺伝情報</li> <li>13 DNA複製</li> <li>14 DNAと染色体</li> <li>15 細胞周期とDNAの分配</li> </ol>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの抽出について理解する。</li> <li>・遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。</li> <li>・細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。</li> </ul>				

<p>を関連付けて理解する。          ・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>16 細胞周期とDNA量の変化          17 遺伝子発現とタンパク質          18 転写と翻訳          19 遺伝暗号表          20 遺伝子発現と維持</p> <p>・教材          教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>・塩基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。          ・転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。          ・遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】          ・DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。          ・母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。          ・細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。          ・DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。          ・遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。          ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なると考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】          ・遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心をもち考えようとする。          ・DNAが複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。          ・体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに興味を持つ。          ・タンパク質について感心をもつ。          ・RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに興味を持つ。          ・遺伝情報をゲノムととらえることに興味を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも興味を持つ。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】          ・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。          ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解すること。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】          ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>・指導事項          21 恒常性と体液          22 血液凝固と線溶          23 恒常性に関わる神経系          24 自律神経系と脳死          25 ホルモンによる調節          26 ホルモン分泌の調節          27 血糖濃度の変化と糖尿病          28 血糖濃度の調節のしくみ          29 体温と水分量の調節</p> <p>・教材          教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>【知識・技能】          ・体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液（血液・リンパ液・組織液）の成分や働き、循環系を理解する。          ・心拍は自律神経によってもアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。          ・特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。          ・血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読みとることができる。          ・体温調節には、肝臓や筋肉汗腺が重要な働きをしていることがわかる。水分調節はバソプレシンや、鉱質コルチコイドの作用により水が再吸収されることがわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】          ・生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き（酸素解離や血液凝固など）を考えることができる。          ・動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。          ・ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。          ・血糖濃度や水分量、体温が、自律神経の働きやホルモンの作用により一定の範囲に保たれていると考えることができる。          ・体液の恒常性における肝臓や腎臓の働きを考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】          ・体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。          ・体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。          ・多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに興味を持つ。          ・自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持していることに興味を持つ。          ・肝臓や腎臓の機能に関心を持ち、体液の恒常性に果たす役割を知ろうとする。</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】          ・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。</p>	<p>・指導事項          30 生体防御の概要          31 異物の侵入を阻止するしくみ          32 自然免疫のしくみ          33 獲得免疫の概要          34 細胞性免疫と体液性免疫</p>	<p>【知識・技能】          ・生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。          ・微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。          ・免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。</p>				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 ・ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>35 抗体とその利用 36 免疫記憶とその利用 37 免疫と病気① 38 免疫と病気②</p> <p>・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 ・予防接種，ワクチンと免疫の関係がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 ・自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 ・体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 ・アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。 ・細菌などを食作用で除く生体防御反応である。 ・免疫のしくみに関心を持つ。 ・予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>E 単元</p> <p>【知識及び技能】 ・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解すること。また、植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解すること。また、生物の種多様性と生物間の関係性との関連付けて理解する。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪かく乱を関連付けて理解すること。また、生態系の保全の重要性を認識する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>・指導事項 39 環境と生物 40 光の強さと植物 41 森林の階層構造と土壌 42 遷移の過程 43 遷移に伴う環境の変化 44 遷移と世界のバイオーム 45 日本のバイオーム 46 生態系における生物の役割 47 種の多様性と食物連鎖 48 生態系と生態ピラミッド 49 キーストーン種と絶滅 50 生態系のバランスと変動 51 人間活動と生態系 52 生物濃縮 53 外来生物 54 生物多様性と生態系の保全 55 生態系と人間生活</p> <p>・教材 教科書紙面からQRコードでアクセスできる動画コンテンツ、アニメーションコンテンツ、一問一答を活用する。</p>	<p>【知識・技能】 ・植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 ・植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 ・気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 ・水平分布、垂直分布がわかる。 ・生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 ・キーストーン種について理解できる。 ・生物多様性を保全することの重要性がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 ・荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 ・バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 ・バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。 ・生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 ・間接効果について考えることができる。 ・生態系を保全することが重要であると考えられることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。 ・植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。 ・世界のバイオームの特色に関心を持つ。 ・生態系をどのように把握できるか関心を持っている。 ・ヒトを除去すると、生態系を構成する生物の種数が変化することに関心をもち生態系について理解しようとする。 ・環境問題などについて関心をもっている。</p>	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

理科

科目 物理基礎

教科： 理科

科目： 物理基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 数研出版 新編 物理基礎 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
身近な事物現象に対して興味を持ち、物理的な視点で探究する。物理の基本的な内容、法則等を学び、観察や実験によりこれらの技能を身につける。	身のまわりの事物現象の観察、基本的な物理実験などにより、科学的な力を養成する。	少人数の選択授業であるので、教材を工夫し生徒自身が主体的に取り組むような指導をおこなう。適宜実習をおこない、基本事項を確認するとともに、観察する方法等を学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 ・ 2 ・ 3 学 期	A 単元 運動とエネルギー 【知識及び技能】 速度・等速直線運動 【思考力、判断力、表現力等】 速度・等速直線運動 【学びに向かう力、人間性等】 速度・等速直線運動	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 加速度・等加速度直線運動 【思考力、判断力、表現力等】 加速度・等加速度直線運動 【学びに向かう力、人間性等】 加速度・等加速度直線運動	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な運動の法則を理解しているか 【思考・判断・表現】 問題演習を通して公式を使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 落体の運動 【思考力、判断力、表現力等】 落体の運動 【学びに向かう力、人間性等】 落体の運動	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 基本的な物体の運動が理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか	○	○	○	6
	C 単元 【知識及び技能】 落体の運動 【思考力、判断力、表現力等】 落体の運動 【学びに向かう力、人間性等】 落体の運動	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 基本的な物体の運動が理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動を身の回りの現象と関連付けて理解することができるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 力のはたらき 【思考力、判断力、表現力等】 力のはたらき 【学びに向かう力、人間性等】 力のはたらき	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物体にはたらく力について理解できているか 【思考・判断・表現】 力の三要素を表すことができるか 重力の大きさやフックの法則などを公式を使用し、問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらく力についてイメージすることができるか	○	○	○	6
	B 単元 【知識及び技能】 運動の法則・摩擦力・圧力 【思考力、判断力、表現力等】 運動の法則・摩擦力・圧力 【学びに向かう力、人間性等】 運動の法則・摩擦力・圧力	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物体にはたらく力について理解できているか 【思考・判断・表現】 公式を使って問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらく力についてイメージすることができるか	○	○	○	7
	定期考査						1
	C 単元 【知識及び技能】 仕事・仕事の原理 【思考力、判断力、表現力等】 仕事・仕事の原理 【学びに向かう力、人間性等】 仕事・仕事の原理	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物体を動かす力について理解できているか 【思考・判断・表現】 仕事の原理の概念を理解することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 物体に対する仕事についてイメージすることができるか	○	○	○	7
D 単元	・板書	【知識・技能】					

【知識及び技能】 エネルギー 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー 【学びに向かう力、人間性等】 エネルギー	・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	エネルギーについて理解できているか 【思考・判断・表現】 エネルギー保存則を理解し、問題を解くことができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物体にはたらくエネルギーについてイメージすることができるか	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
A 単元 【知識及び技能】 熱・熱量 【思考力、判断力、表現力等】 熱・熱量 【学びに向かう力、人間性等】 熱・熱量	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 熱量について理解しているか 【思考・判断・表現】 熱量の保存則を理解し使用することができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な熱の移動について、理解しているか	○	○	○	6
B 単元 【知識及び技能】 熱と物質の状態 【思考力、判断力、表現力等】 熱と物質の状態 【学びに向かう力、人間性等】 熱と物質の状態	・板書 ・問題プリント、ワーク ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 熱と物質について理解しているか 【思考・判断・表現】 物質の状態変化を科学的に理解しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質変化を例に熱の変化を捉えられているか	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
						合計
						70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 体づくり</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。</p> <p>②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①体ほぐし運動</p> <p>②筋力を高める運動</p> <p>③体育祭練習</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。</p> <p>②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。</p>	○	○	○	9
<p>B 水泳</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>①クロール</p> <p>②平泳ぎ</p> <p>③背泳ぎ</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホルの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。</p> <p>②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。</p> <p>③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいく。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。</p> <p>③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。</p> <p>④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p> <p>⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9

1. 2. 3 学期	<p>A バレーボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②トス ③スパイク ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②バレーボールで高まる体力を理解している。 ③バレーボールでの体力の高め方を理解している。 ④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>A サッカー</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイント理解している。 ②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイント理解している。 ③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。 ④ゴールの枠内にシュートをコントロールできる。 ⑤味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることができる。 ②チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組むことができる ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>A テニス</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>A ソフトボール</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①スローイング ②キャッチ ③バッティング ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②ボールをねらった場所に投げるができる。 ③打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	9

<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①長距離走</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</p> <p>②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができることを理解している。②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p> <p>②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。</p>	○	○	○	9
<p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</p> <p>②ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	7
						合計
						70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（現代高等保健体育(大修館)）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>	<p>思春期と健康生活 性意識と性行動の選択 妊娠、出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康</p>	<p>【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>	○	○	○	13
<p>【知識・技能】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。</p>	<p>現代社会と健康 生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり</p>	<p>【知識・技能】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど知識を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考えさせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 健康について日頃から考えていること、病気について・医療について・アンチエイジングについてなど身近に感じていることから考える態度を養う。</p>	○	○	○	12
<p>【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や</p>	<p>中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 大気汚染と健康 保健サービスとその活用</p>	<p>【知識・技能】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p>				

1・2・3  
学期

<p>社会の課題を発見することができる。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>		<p><b>【思考・判断・表現】</b> 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p>	○	○	○	10
						合計 35



年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

人間と社会 科目 人間と社会

教科：人間と社会 科目：人間と社会

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（人間と社会：東京都教育委員会）

教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。	社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 ・1年間を振り返る ・非認知能力について知る ・非認知能力で自身を分析する ・キャリアアンカー ・ブランドハップスタンス	【知識・技能】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動を通して、キャリアについて理解を深め、社会的・職業的自立の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。  【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。	○	○	○	10
B 単元 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。	【指導事項】 ・芝生の管理作業について知る ・芝生の管理作業を行う	【知識・技能】 グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。  【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 芝生の管理作業に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	8
C 単元 救命技術を、普通救命講習で学ぶことで、地域社会における自助や共助の精神を高める。	【指導事項】 ・普通救命講習	【知識・技能】 救命技術を、普通救命講習で学ぶことで、地域社会における自助や共助の精神を高める。  【思考・判断・表現】 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。  【主体的に学習に取り組む態度】 救命技術習得に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	○	○	○	3
D 単元 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、町田市探究で学習した内容を深化させ	【指導事項】 ・体験活動 ・体験活動報告会	【知識・技能】 町田市探究で関わった団体が主催するイベントに参加することで、キャリアについて理解を深め、各教科・科目の履修計画の作り方を				

<p>る。</p>		<p>理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。</p>	○	○	○	6
<p><b>E 単元</b> グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。</p>	<p><b>【指導事項】</b> ・芝生の管理作業について知る ・芝生の管理作業を行う</p>	<p><b>【知識・技能】</b> グラウンドの芝生の管理作業を地域住民と行うことで、学校の特色を生かし、地域に誇れる学校にすることが「まちづくりの推進」につながることを理解する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 芝生の管理作業に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	4
<p><b>F 単元</b> 進学に必要な資金、社会生活に必要な資金について学び、社会的職業的に自立しようとする態度を養う。</p>	<p><b>【指導事項】</b> ・お金の意義について考える</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 進学に必要な資金、社会生活に必要な資金について理解を深め、社会的・職業的自立の仕方を理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> お金の意義について考えることに主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	2
<p><b>G 単元</b> 主権者としての権利について学び、社会的職業的に自立しようとする態度を養う。</p>	<p><b>【指導事項】</b> ・主権者について考える</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 主権者としての権利について理解を深め、社会的・職業的自立の仕方を理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 社会現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力を養う。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 主権者としての権利を考えることに主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	2
合計						35